重心型児童発達支援・放課後等デイサービス　ここぱーく（第一単位・第二単位）　支援プログラム

法人理念　私たちは幸せな社会創りのために、楽しく夢を叶え信頼を築くことで「ほほえみ」と「感動」を生み出し、届けます

支援方針
①開かれた事業所づくり
②五感刺激を目的として、子どもたちにより多くの体験を
③保護者の思いに寄り添う
④困った時はお互い様
⑤保育者・支援者自身が自ら楽しむこと

作成年月日：令和 8 年 12 月 1 日
営業時間：9：00～18：00
送迎実施の有無：有

主な行事等
○外出・体験活動
○季節の行事
○避難訓練

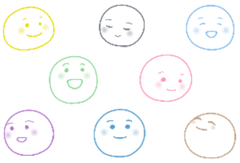
健康・生活
○看護師による健康管理(バイタルチェック、投薬、医療的ケア等)
○個々に合わせた衣服の着脱・排泄・食事など基本的な ADL の獲得に対する支援
○咀嚼・嚥下・姿勢保持に配慮し、本人の力を主体として自助具を用いて必要な補助(介助)を行います

人間関係・社会性
○スキンシップを通じてアタッチメントの形成を行い、職員の声や介助の感覚から信頼関係を構築していきます
○地域の幼稚園・保育園に入所する前の医療的ケア児の受け入れを行い、社会に出る前の小集団の生活の場を設けます

認知・行動
○天気、日付、曜日の確認による、感覚・数の認知形成
○季節の行事に参加することで時制を感じ、療育活動の中で生活の楽しみや興味の幅を拡げていけるように関わります。一人一人の得意、不得意を探していきます

運動・感覚
○保育士、児童指導員が考案する五感刺激を目的とした療育活動への参加
○療育活動体験による感覚入力
(主に制作活動、音楽療法、パラバルーン、新聞遊び、外出活動など)
○PT による身体的リハビリ（歩行・立位訓練、感覚・刺激マッサージなどを行い、本人の持つ身体機能維持を目的に機能低下を予防する）

言語・コミュニケーション
○積極的に職員から話しかけながら、本人たちの自発的な言葉や反応を読み取っていけるよう、時間をかけて丁寧に関わります
○場面に応じた表情や発語から、本人の気持ちを読み取り、共感と共有をしていきます



家族支援
○年に一度、「ここぱーく祭り」を開催し、保護者が集まり交流できる場所を作ります。
○きょうだい児の行事や、ご家族の都合にて、受け入れ時間や送迎サービスの調整をします。

移行支援
○地域の幼稚園・保育園に入所、並行通園による情報共有を行います。

地域支援・連携
○各特別支援学校、市町村、相談支援事業所、訪問診療と連絡を取り、ケース担当者会議などに参加します。必要な情報提供を行います。
○併用事業所と利用の調整を行い、受け入れ体制を整えます。

職員の質の向上
○内部研修（月 1 回以上）
○外部研修（年 1 回以上）
○BCP、虐待防止、
感染症対策研修の実施

COCO PARK